

職員の休暇に関する規則の一部を改正する規則を公布する。

令和 8 年 6 月 1 日

大阪市人事委員会

委員長 西出 智幸

大阪市人事委員会規則第 8 号

職員の休暇に関する規則の一部を改正する規則

職員の休暇に関する規則（平成 4 年大阪市人事委員会規則第 1 号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改正後	改正前
<p>(特別休暇)</p> <p>第 4 条 条例第11条に規定する特別休暇は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に掲げる期間又は時間与えるものとする。</p> <p>[(1)～(5) 略]</p> <p>(5の2) 職員が裁判員、証人、鑑定人、<u>参考人、被害者参加人（刑事訴訟法（昭和23年法律第131号）第316条の33第3項に規定する被害者参加人をいう。）</u>等として国会、地方公共団体の議会、裁判所、人事委員会その他官公署へ出頭する場合必要と認める期間又は時間</p> <p>[(5の3)～(13) 略]</p>	<p>(特別休暇)</p> <p>第 4 条 [同左]</p> <p>[(1)～(5) 同左]</p> <p>(5の2) 職員が裁判員、証人、鑑定人、<u>参考人</u>等として国会、地方公共団体の議会、裁判所、人事委員会その他官公署へ出頭する場合 必要と認める期間又は時間</p> <p>[(5の3)～(13) 同左]</p>

[ 2 ・ 3 略 ]

[ 2 ・ 3 同左 ]

備考 表中の [ ] の記載は注記である。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。